

令和5年度第1回熊本県地域職業能力開発促進協議会 議事概要

日時：令和5年11月9日（木）10:35～12:05

場所：熊本市西区春日1-13-1 ザ・ニューホテル熊本 せきれいの間

議事

1 新田労働局長あいさつ

2 委員互選により会長に熊本県立大学西森利樹准教授を選出

3 議題

(1) 令和4年度公的職業訓練の実施状況について

熊本県、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構熊本支部より、令和4年度及び令和5年度（9月末まで）の公共職業訓練、求職者支援訓練に係る受講者数、開講コースの充足率、就職率などの実施状況について説明を行った。

また、公共職業訓練、求職者支援訓練の分野別におけるコース数、定員、受講者数、応募倍率、定員充足率、就職率等の分析結果についても併せて説明を行った。

(2) ワーキンググループ効果検証について

ワーキンググループより、訓練コース・デジタル分野について、効果の把握・検証等結果について説明を行った。

(3) 地域の人材ニーズについて

熊本労働局より、令和5年7月に県内自治体及び事業主団体に実施した職業訓練ニーズ調査（アンケート方式）結果について次のとおり説明を行った。

- ① 地域の雇用拡大・改善に期待できる職業訓練（分野別）の地域別集計結果及び分析。
- ② 新型コロナウイルス感染症及び原油価格や物価の高騰、また半導体関連企業の熊本県進出等の影響を踏まえた職業訓練実施に係る意見等。

(4) 令和6年度熊本県職業訓練実施計画の策定に当たっての方針（案）

第1回中央職業能力開発促進協議会の結果等を踏まえ、令和6年度熊本県職業訓練実施計画の策定方針（案）について次のとおり説明を行った。

- ① R4年度実施状況の分析
- ② R4年度計画と実績の乖離

③ 人材ニーズを踏まえた設定

また③について、半導体産業をはじめとした、企業が必要とされる人材ニーズを踏まえた職業訓練の機動的な設定の推進について、熊本県、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構熊本支部より取り組み等の説明を行った。

(5) その他、意見交換

事務局より、以下の2点について説明を行った。

- ① 令和5年度熊本県地域職業訓練実施計画の5(3)地域におけるリスキングの推進に関する事業(「地域リスキング推進事業」)について、本協議会で事業一覧を報告することとなっているが熊本県(市町村を含む)における実績がなかったためその旨報告を行った。
- ② 求職者支援訓練に係る令和6年度の暫定計画について
令和6年度の認定コースの第1四半期分の募集が来年1月から始まることから、第1四半期の暫定計画について作成について説明を行った。

委員より出された主な意見及び回答について

- ・ TSMC の熊本県進出に伴い、半導体産業及び関連産業における人材育成が必要である。
- ☞ 半導体販連の人材育成については、令和5年度に訓練カリキュラムを一部見直したコースがあり、令和6年度においてもさらにカリキュラムの変更を予定している。
- ・ 専門知識以外の基本スキルの取得による人材の質の底上げにもつながる訓練カリキュラムも必要。
- ☞ 専門的な知識の習得だけでなくビジネスマナー等基本的なカリキュラムの設定も検討していく。
- ・ IT 分野等デジタル分野の訓練が多くても就職つながることは難しいのではと思われるのでマッチングを意識した訓練を実施してほしい。
- ☞ デジタル分野への再就職のミスマッチについては、ハローワーク職員等の訓練内容の理解等により受講あっせんの実施を行い、また、求人部門との連携によりミスマッチの低減を図っていく。
- ・ 人手不足分野の雇用については、高年齢者や雇用保険に加入していない方も必要となってくると思われるので、そういう方も受講できるような訓練を実施してもらいたい。
- ☞ 雇用保険被保険者でない方等の受講あっせんについては、受講給付金等求職者支援制度の周知強化に取り組む。